



農林水産大臣賞

部門
04

スマート農業技術等の開発・普及部門

株式会社ファームノート

牛群データで守る、日本の酪農生産基盤
一生産現場と食料システムをつなぐ経営プラットフォーム



牛群管理クラウドの提供による現場データを活用した新たな酪農経営モデルの構築

概要

- 酪農家の減少、飼料・燃料高による経営悪化が進む一方、繁殖や衛生管理の課題は可視化されておらず、データ活用による生産性向上が求められていた。
- 牛群・生産管理クラウド、行動センサー、ゲノム検査の3つのデータ基盤を提供。牛群・生産管理クラウドは全国約2,000戸・約38万頭で使われ、グループ会社の牧場での実証や獣医師・農協との連携を通じて運用支援を行っている。

成果

- グループ会社が北海道で6つの牧場の経営管理を担い、実際の経営で得た知見を製品に反映。センサー AI、生産管理、ゲノム育種を一体化し、AIによる経営支援基盤の開発も進めている。
- 繁殖成績や乳量向上、治療費削減などにより収益改善に貢献。畜産分野にデータ活用の考え方を浸透させ、畜産 DX 市場の形成を後押しした。
- 行政とのデータ連携、地域課題解決型カンファレンスの開催を通じて生産者や行政、実需者の交流を促進。高校生向けキャリア教育にも取り組み、食と農、地域の未来をつなぐ活動を実践している。

基本情報

事業開始年度
2014年

活動年数
12年

活動地域
北海道

(主には北海道・道東地域。東京・九州にも拠点を
おき全国へ展開)

審査委員からのコメント

クラウド、個体センサー、ゲノム検査を約2,000戸・約38万頭規模で運用し、グループ会社の牧場で検証を回す仕組みが卓越。繁殖、疾病、乳量、コスト、CO₂まで具体的成果を示し、酪農経営の意思決定そのものを変える基盤として完成度が高い。